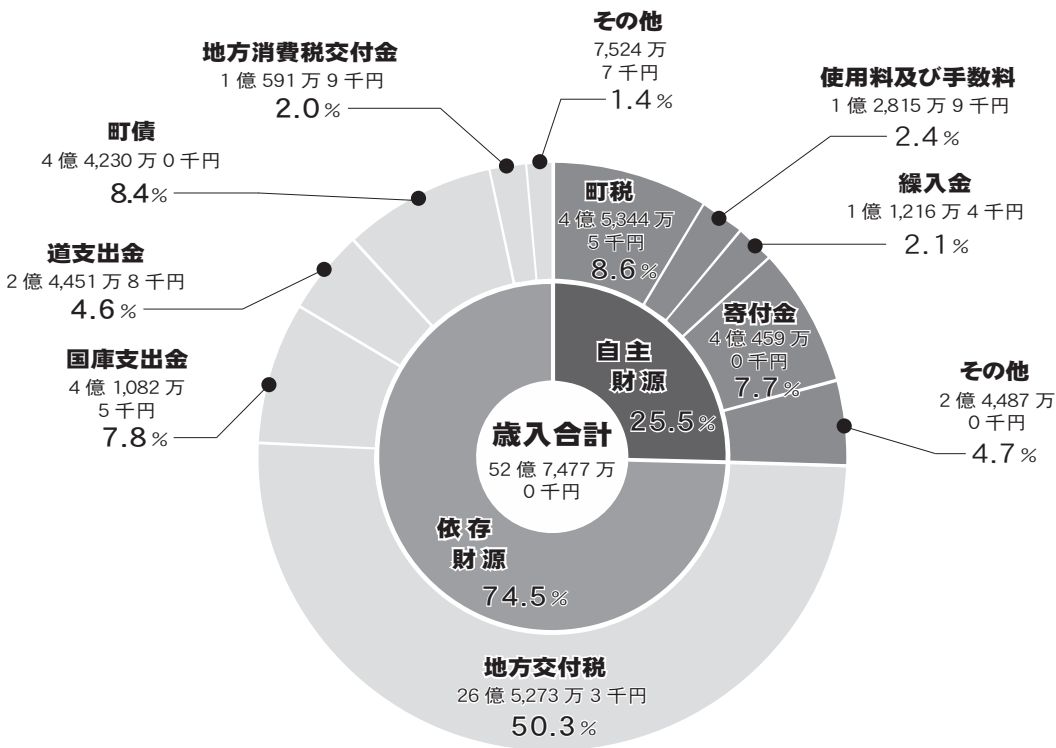


歳入

52 億 7,477 万円 0 千円

歳入全体では、143 万 5 千円（▲ 0.03％）の減額となりました。各種事業の財源である国庫支出金・道支出金が減じたものの、ふるさと納税による寄付の増によりほぼ前年度並みとなりました。



町民 1 人当たりの歳入額 137 万 5 千円 納税額 11 万 8 千円
1 世帯当たりの歳入額 256 万 1 千円 納税額 22 万 0 千円

町 税 の 内 訳				
税 目	町民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ税
金 額	1億9,800万0千円	2億169万6千円	1,420万7千円	3,954万2千円
前年比	2,001千円	5,291千円	379千円	▲2,213千円

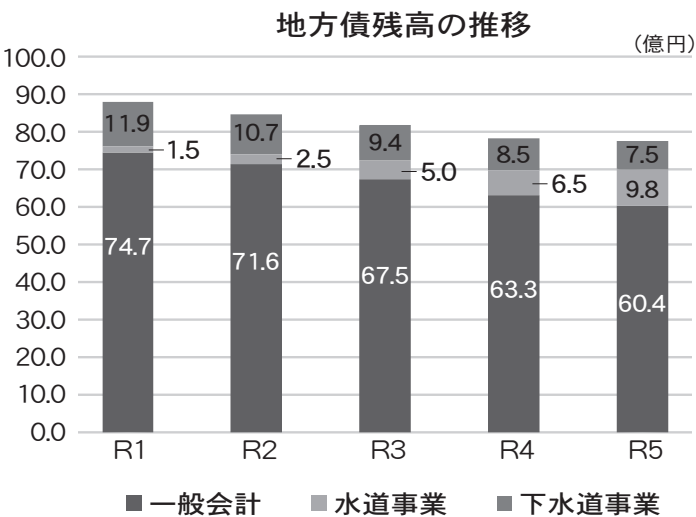
地方債

町全体の借金は約 6,000 万円減少

地方債は、自治体の借金のことです。
令和 5 年度は、前年度に引き続き、計画的な償還を行ったことにより、町全体の地方債の残高が約 6,000 万円減少しました。
今後も計画的な借入・償還に努めます。

令和 5 年度末残高

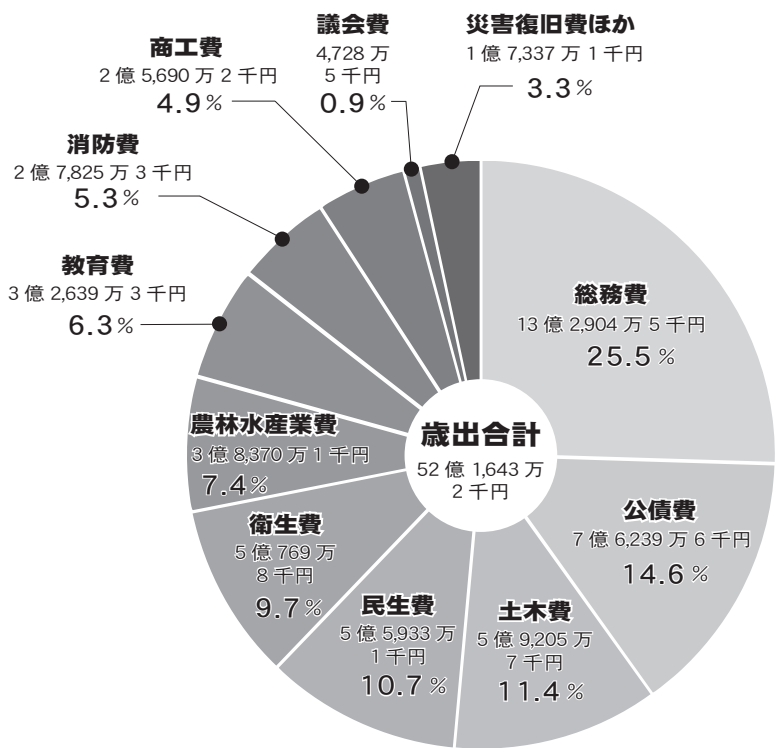
一般会計：60 億 3,906 万円
水道事業：9 億 8,098 万円
下水道事業：7 億 5,329 万円



歳出

52 億 1,643 万 2 千円

歳出全体では、1,804 万 9 千円（0.35％）の増額となりました。
農林水産業費で大幅な減（主に上架施設整備事業補助の完了）があったものの、令和 5 年 10 月大雨による災害復旧事業などの増によりほぼ前年度並みとなりました。



町民 1 人当たりの歳出額 136 万 0 千円
1 世帯当たりの歳出額 253 万 2 千円

みなさんが納めた税金や国・道からの補助金等は、福祉や教育の充実、道路や下水道の整備など、さまざまな形で暮らしやまちづくりに使われています。

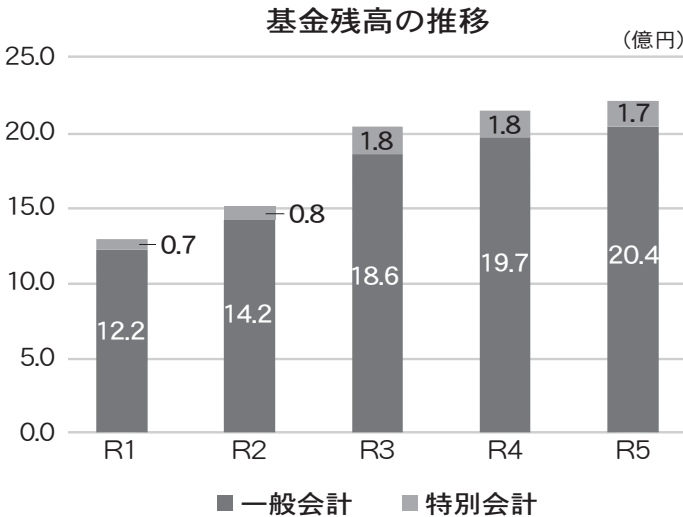
基金

町全体の貯金は約 6,000 万円増加

基金は、自治体の貯金のことです。
令和 5 年度は、減債基金やふるさと様似応援基金などに積み立てを行ったことにより、基金の残高が約 6,000 万円増加しました。
今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めます。

令和 5 年度末残高

一般会計：20 億 3,805 万円
特別会計：1 億 6,707 万円



令和5年度に実施した主な事業（一般会計）

旧様似駅周辺土地活用 （イメージ図作成ほか） 130万1千円

旧様似駅周辺エリア等の今後の利活用について、考え方や方向性をまとめるために、イメージ図作成などを行い、情報整理を進めています。



アポイ山荘マイクロバス 1,264万8千円

老朽化が進んでいたアポイ山荘のマイクロバスについて、安全に送迎ができるよう、車両更新を行いました。



防災備蓄庫整備工事（6箇所） 2,995万3千円

防災備蓄計画に基づき、防災資機材などの備蓄施設設備を準備しており、鶴苔・潮見台・田代・平宇・冬島・幌満にそれぞれ整備を行いました。



地域応援券（アポイクーポン）発行事業 7,702万8千円

新型コロナウイルス感染症等により高騰している物価対策、町内消費活動の活性化のため町内で利用できるアポイクーポンを2回発行しました。

※この事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しています。



錦町団地長寿命化改修工事 8,358万9千円

老朽化が進む公営住宅について、公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的に建替・改修を進めており、錦町団地の屋根及び外壁改修工事を行いました。



令和5年10月発生大雨災害復旧事業ほか 1億6,326万9千円

令和5年10月5日から6日にかけての豪雨などにより被災した公共施設などについて、災害復旧工事などを行いました。

※年度内に完了していない事業（西様似2号橋災害復旧工事など）は令和6年度に繰り越して、現在も事業を執行しています。



一般・特別・水道事業 会計決算

一般会計

一般会計は、福祉や教育、まちづくりなどの行政運営における基本的な会計です。

特別会計

保険料や使用料など特定の収入をもとに特定の事業を行う場合は、収入と支出がはっきり分かるように、様似町では表1のとおり4会計を設けています。

水道事業会計

水道事業は、公営企業として別に会計を設けています。決算は表1のとおりです。

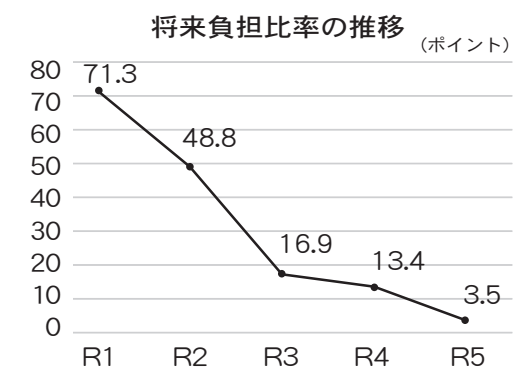
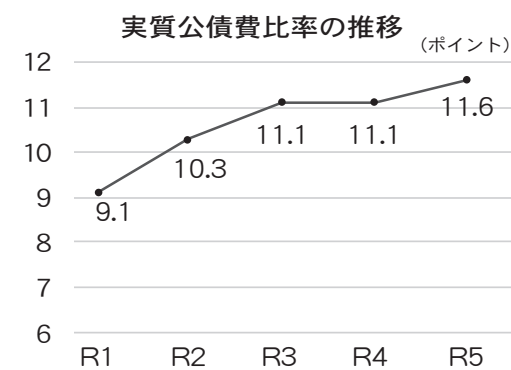
各会計決算（総括表）			表1
会計区分	項目	歳入	歳出
一般会計		52億7,477万円	52億1,643万円
特別会計	介護保険	4億6,191万円	4億4,606万円
	国民健康保険事業	5億7,934万円	5億6,453万円
	後期高齢者医療	8,958万円	8,958万円
	下水道事業	3億 838万円	3億 230万円
合計		67億1,398万円	66億1,890万円
水道事業会計	収益的収支	1億9,805万円	1億4,926万円
	資本的収支	3億4,132万円	3億9,935万円

※資本的収支の差引額▲5,803万円の不足分は損益勘定留保資金等で補てんしました。

令和5年度決算の財政指標をお知らせします

健全化判断比率・資金不足比率

自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。様似町の比率は国の定める基準を下回っており、前年度に引き続き健全であるという結果になっています。令和5年度の実質公債費比率は、公債費の元利償還金は減となったものの、普通交付税の減などにより0.5ポイントの増となりました。将来負担比率は、町債の計画的な償還が進んでいることなどにより、9.9ポイント改善されました。



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は、いずれも比率が算定されておらず、健全な状態といえます。

経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金（地方税、地方消費税交付金など）が、毎年決まって出ていくお金（人件費、借金の返済など）に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和5年度は、経常的な収入である普通交付税の減などにより前年度より2.8ポイント増加しました。

